

(11) 特用林産物の振興について

想定課題

那須地域は本県のきのこの主産地であるが、森林内での生産が主であるきのこの生産にどのような影響があるか。

対応方向

那須地域には、きのこを主体とした特用林産物の産地が形成され、本県の生産者の約4割を占めるなど、特に、中山間地域においては重要な収入源となっています。

国会等が移転すれば、定住人口が増加し需要の拡大が見込まれることから、施設内で生産ができ、周年出荷が可能な菌床によるきのこ生産の振興を図りつつ、新たな産地の形成を図る必要があります。

那須地域のしいたけ供給量（平成12年）

種 類	那須地区	南那須地区	塩谷地区	那須地域 計
生しいたけ	487 t	174 t	558 t	1,219 t
乾しいたけ	16 t	22 t	23 t	61 t

新都市の消費人口に対する椎茸の需要見込み量

種 類	那須地域の 現状供給量	10万人		30万人		60万人	
		需要量	比 率	需要量	比 率	需要量	比 率
生しいたけ	1,219 t	77.1 t	6.3%	231.2 t	20.0%	462.5 t	37.9%
乾しいたけ	61 t	4.7 t	7.7%	14.0 t	23.0%	28.1 t	46.1%

1 一世帯当たり2.67人で換算（2000年全国平均）

2 一世帯当たり年間使用量（2000年家計調査年報）

生しいたけ 2.058 kg

乾しいたけ 0.125 kg